

平成24年12月12日

各 位

株式会社 三井住友銀行

前田建設工業株式会社に「SMB C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、前田建設工業株式会社（代表取締役社長：小原 好一）に対し、「SMB C環境配慮評価融資」を実施致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：藤井 順輔）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況进行评估し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、前田建設工業株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境マネジメント」「環境保全対策の取り組みの状況」「環境ビジネス」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において優れた環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、①中期経営計画と環境経営計画を連動させながら環境マネジメントを推進し、環境の社内ルールとして「環境版 MAEDA ルール」を定め、全作業所で実施すべき環境項目を設定し、活動状況の見える化を行っておられる点、②環境保全対策では、建設機械の稼働による燃料消費を削減するため、省燃費運転の教育やハイブリッド型建機の導入などを進めておられる点、③環境ビジネスでは、大規模再開発事業において初めて、施工時のCO₂排出量をトータルでゼロにすることを目指した「カーボンゼロプロジェクト」を推進しておられる点等が高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



「環境経営 No.1 のフラッグシップ」
である飯田橋再開発事業



BDF (バイオディーゼル燃料)車の利用で
CO₂ 排出量の削減を実現